

授業科目	基礎看護方法4	2 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	中村 円 (保健医療学研究棟 E312 号) e-mail : m-nakamura@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	堀口雅美、宇野智子、飯澤良祐		
概要	本科目では基礎看護方法3で学習した看護過程の基礎知識をもとに、看護過程の6つの側面「アセスメント」「看護診断」「目標の設定」「計画」「実施」「評価」を紙上事例を用いて展開する。個人学習とグループ学習、および発表会の学習過程を通して、対象者の健康上の課題を明らかにし、それらの解決に必要な実践の過程の基礎を学ぶ。本科目では、これまでに習得した知識・技術・態度を統合しながら看護実践の過程を学習し、看護実践者として必要不可欠な論理的、倫理的な思考力と実践力の基盤を培う。		
到達目標	論理的な思考を活用しながら、健康障害のある対象者に対して個別的な看護実践を模擬的に行うことができる。 1) 対象者を身体的な側面及び心理・社会的な側面から捉え、統合体として理解する。さらに、対象者にとっての強みを明らかにする。 2) 対象者の看護診断を特定し、対象者の目標とそれを解決するための看護援助を具体的に立案する。 3) 対象者の安全、安楽、自立を考慮した個別的な看護援助を模擬実践し、評価する。		
関連科目	基礎看護方法1～3, ヘルスアセスメント1, 基礎看護実習2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	提出物	70%	・提出物と学習状況により評価し、いずれもが合格の場合に単位は認定される。 ・事前・事後課題の提出状況とその内容、学習状況としてグループ学習への参加態度や発言内容等に関するルーブリック評価表に基づいて評価する。 ・成績が60点未満の場合、再試験に相当する対応を1回に限り実施する(課題の再提出、口頭試問、筆記試験等)。
	学習状況	30%	
教科書	①T・ヘザー・ハードマン、上鶴重美訳 [2021年・3,520円] 「NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023(原書第12版)」医学書院		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本シラバスで示されている関連科目以外に、1年次に学習した内容、および2年次で学習している内容を活用することが求められる。</li> <li>・学習要項と配付資料を熟読する。</li> <li>・掲示は直接自分にのみ目で確認し、必要な行動を速やかにとる。</li> <li>・学生サポートシステムからの連絡を確実に受信できるようにしておく。</li> </ul>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション 紙上事例の看護過程の展開： アセスメント①(情報の整理、分析・解釈・判断)	事前：演習事前課題 事後：演習事後課題	講義 グループ 学習	堀口・宇 野・中村・ 飯澤
2	アセスメント②(情報の整理、分析・解釈・判断)	事前：演習事前課題 事後：演習事後課題	〃	〃
3	アセスメント③(統合)	事前：演習事前課題 事後：演習事後課題	〃	〃
4	看護診断①	事前：演習事前課題 事後：演習事後課題	〃	〃
5	看護診断②	事前：演習事前課題 事後：演習事後課題	〃	〃

6	発表会①：アセスメント及び看護診断の学習成果発表	事前：発表会資料の作成 事後：演習事後課題	発表会	堀口・宇野・中村・飯澤
7	目標の設定	事前：演習事前課題 事後：演習事後課題	グループ学習	〃
8	計画の立案①	事前：演習事前課題 事後：演習事後課題	〃	〃
9	計画の立案②	事前：演習事前課題 事後：演習事後課題	〃	〃
10	発表会②：目標及び計画の立案の学習成果発表	事前：発表会資料の作成 事後：演習事後課題	発表会	〃
11	計画の修正	事前：演習事前課題 事後：演習事後課題	グループ学習	〃
12	模擬実践の計画と練習	事前：演習事前課題 事後：演習事後課題	〃	〃
13	発表会③：実施(模擬実践)	事前：発表会資料の作成 事後：演習事後課題	発表会	〃
14	〃	事前：発表会資料の作成 事後：演習事後課題	〃	〃
15	評価	事前：演習事前課題 事後：演習事後課題	グループ学習	〃